

北社会ニュース 33号

2007年6月20日

発行者：鈴木壮夫

本日、第252回北社会開催に対し、中鉢龍範氏（高13回）の多大なるご尽力をいただき、久しぶりにほぼ60名という盛況となりました。中鉢氏と私は昭和26年、上杉山小を母体に結成されたボーイスカウト仙台17隊での交友が始まりでした。もう56年も昔のことになりましたが、今回の講師ご推薦、同期生への参加呼び掛け等々、電話を通して聞こえてくるハートフルな北社会への思いやりに、当時の純粹さが蘇り、胸が熱くなった瞬間もございました。

(1) 本日の講師：齋藤武雄氏（高13回） 東北大学名誉教授

ハービマン・エネルギー戦略研究所 代表取締役

日本ヒートアイランド学会会長

テーマ「独創力を生み出す頭脳」- 21世紀の100兆円革新技術・SHINLAタービン開発の苦しみの中から得た法則-

私は講師のお名前を存じあげませんでした。河北新報の友人に電話連絡して、同社のデータベースを調べてもらい、「齋藤武雄」のキーワードで検索すると127件の記事がヒットしました。その一部を友人の判断にて選択、コピーを十数枚送っていただきました。ソーラー自転車・仙台中心部のヒートアイランド・2005年には地球と人類の未来への提言等々自分の無知は欄にあげて、同窓会報が紹介すべきと痛感しました。左の記事は1993・3月掲載です。

◆エネルギー自給の家づくり

東北大学工学部 教授

齋藤武雄さん

話題

冷暖房、給湯といった住まいに必要なエネルギーの一切を、太陽熱など

名付けて「ハービマンハウス」。簡単に説明すると、地下の大型水槽の

「石油資源の枯渇が懸念され、太陽エネルギーは

「ハービマンも、人類と自然の調和を意味する「HARMONY BETWEEN NATURE」から命名した。

自然のエネルギーから賄う。資源の乏しい日本にとって、夢のような家のシステムを考案した。そ



さいとう・たけお 昭和17年11月18日、宮城県丸森町生まれ。東北大学大学院工学研究科博士課程修了。相模工業大助教授、東北大助教授などを経て、63年から現職。仙台市青葉区中江の公務員宿舎に妻、子供2人と4人暮らし。50歳。

「われわれ現代人は、無意識のうちにエネルギーを無駄にしている。大根一本を作るのに費やされるエネルギーは、江戸時代の十倍。食事の材料を買いにいくにも、撮取るエネルギーをはるかに上回るガソリンを使って車を走らせる。一世の中の仕組みを洗い直さないと駄目な時代にきていますよ」。ハービマンハウスは、長年の研究生活から確信した時代認識を実現するための第一歩だ。

自然との調和図る

れだけではない。近く仙台市内に新築する自宅

水を、屋根に設けた集熱板や放熱板を循環させて、暖房、冷房用のエネルギーを蓄える。「工

水や放熱板を循環させて、暖房、冷房用のエネルギーを蓄える。「工

水を、屋根に設けた集熱板や放熱板を循環させて、暖房、冷房用のエネルギーを蓄える。「工

水を、屋根に設けた集熱板や放熱板を循環させて、暖房、冷房用のエネルギーを蓄える。「工

(足)

(2) 来月以降の北社会

7月17日(火) 講師：西澤潤一同窓会長

ご講演のテーマは男女共学化になった母校に期待すること及び同窓会活動についてをお願いしております。

6月8日、河北夕刊は“共学で吹く新しい風”－先陣の仙台二高、親・生徒の思いは－という記事を掲載した。女子70人は入学後、大運動会や一高との野球定期戦を体験した。応援練習など男子校の伝統の洗礼も受け「もう慣れたが最初は大変だった」と今は笑って話す。親は「親が心配するほど子どもは弱くない、自主性にまかせ本人の意志を尊重する」。男子からは「思ったほど大きな変化はない」一年生は「中学も共学なので違和感はない」上級生は「以前は男子だけで気楽だった」「男のノリが変わるのは悲しい」「女子の参加で部活動に活気が出た」との意見を掲載。

6月10日、NHK・日曜美術館「モネ展覧会」に西澤会長がゲスト出演され、楽しそうに話されていた。うろ覚えだが、隠れている自然の神秘(特に光)をモネは絵画表現しており、科学者として半導体にのめり込むキッカケとなった50年程過去の話しや“情熱は死ぬまで欠けてはダメ!”とか・・・。疲労した身体に活力を与えていただきました。自分も絵画の勉強をしている妻が時折、私を見やり、その無能さに気の毒がっているようなので、焼酎を何杯も重ねる結果となりましたが。

8月20日(月) 講師：ズラゲレルさん(モンゴル国留学生・東京国際大学の国際関係学部の三年生)

テーマはまだ決めておりません。23才の小柄な女性で昨年12月の同窓会報に校長室での写真が掲載されております。

9月：講師は石井彦寿氏(高12回)－東北大学法科学院教授－を同期の白崎敬治氏のご尽力でお願いしております。会場未定のため、本日現在開催日も未定です。

(3) 同窓会報

先ず年会費をお支払い下さい！

平成19年度春季号が各自のお手元に既に到着済みと思います。同窓生、15000名に郵送しております。昨年会費を支払った人は3181人。つまり、五人に一人しか払っていない。そして、今年予算案では2500人の支払いと予想している。共学になったので“別の学校”になった、だから払わないという同窓生が増えると予想しているらしい。今号でもハテナ?という記事も散見される。地元・仙台ではメディアが二高のことを伝えるかもしれないが、首都圏ではムリ。もっと興味を持てる、実のある会報を多くの同窓は切望している。意見をどんどん同窓会事務局に寄せていただきたいと思います。